

紙コップシアター

たかい、たかーい!



子どもの大好きな「たかい、たかい」を紙コップで再現!



1 テーブルの上に、サルの絵をかいた紙コップを4つ並べます。

「あそこには、なかよしのおサルさんがいました。」

2

● 紙コップを1つ手に取ります。

「そのうちの1匹が言いました。」

「たかいたかいて!」って。」

● 最初の紙コップを置き、2つ目の紙コップを手に取ります。

「すると、隣にいたおサルさんが「いいよ」って上に乗せてくれました。」

● サルの手がっつながるよう(に紙コップを)重ねます。

「わあ! たかい!」上に乗ったおサルさんは大喜び。」

4

● 少ししか触れただけでも崩れてしまいます。

積んでいるときに崩れそうになったら、子どもが崩したくてパンチをしたら、そのタイミングで「セリふを」言います。

「あーっ、大きな石が飛んできました! ポーン!!」

● 崩れた紙コップを子どもと見ながらセリふを言い、紙コップを重ねていきます。

「あらあら... おサルさんたちは、崩れてしまいました。」「びっくりしたけど、楽しかったわ!!」そう言うと、おサルさんたちは重なって、帰ってしまいました。」

おしまい

バリエーション

紙コップを倒すときには、「強い風が吹いてきました」や「飛んできたバナナとぶつからって...」など、アレンジしながら楽しみましょう。

4, 5歳児は紙コップの数を増やして高く積むゲームをしたり、サルだけでなく、好きな絵を描きながら、一緒に物語を作っても楽しいですよ!

紙コップがない場合は、トレットペーパーの芯や、紙を筒状に丸めたもので代用もできますよ。